



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <https://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 杉本 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 CF0 (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	68,356	11.7	11,790	4.4	12,273	0.2	8,482	△6.7
2024年3月期第1四半期	61,171	17.1	11,292	36.1	12,242	26.9	9,090	30.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 16,071百万円(17.1%) 2024年3月期第1四半期 13,729百万円(2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	37.18	37.08
2024年3月期第1四半期	39.85	39.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	408,731	257,249	63.0
2024年3月期	346,175	247,036	71.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 257,404百万円 2024年3月期 245,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	12.00	—	15.00	27.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	16.00	—	17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	18.2	43,200	7.9	44,200	4.2	32,200	4.1	141.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

Soar R2M Pte. Ltd., Eu
 新規 38社 (社名) Yan Sang International、除外 一社 (社名)
 Ltd. 他36社

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	236,178,310株	2024年3月期	236,178,310株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	8,039,536株	2024年3月期	8,039,532株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	228,138,775株	2024年3月期1Q	228,138,946株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、行動制限の解除や海外からの渡航者の増加によるインバウンド需要の増加により回復基調となりました。個人消費につきましては、行動制限の緩和から消費の回復は見られたものの、光熱費の増加や原材料価格の上昇による商品の値上げ等により生活費の負担は増しており、節約志向は一段と高まりをみせております。一方、円安の進行や海外経済の減速懸念、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・資材価格の高騰が続き、国内物価の上昇等、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは世界の人々が身体も心もイキイキと様々なライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごせるよう「Connect for Well-being」のスローガンを掲げ、さらなる企業価値の向上を目指し「総合経営ビジョン2030」の実現に向けて取り組んでおります。

その結果、売上高は683億5千6百万円（前年同期比11.7%増）と大幅な増収となりました。国内におきましては、お客様のニーズに合った商品提案やインバウンド需要の増加により増収となりました。海外におきましても、お客様のニーズに合った商品提案や円安の影響により増収となりました。

利益面につきましても、原価率が上昇したものの大幅な増収となったことに加え、販売費及び一般管理費の効率の活用に努めた結果、営業利益は117億9千万円（同4.4%増）、経常利益は122億7千3百万円（同0.2%増）、親会社株主に帰属する四半期当期純利益につきましては、84億8千2百万円（同6.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、405億3千4百万円（前年同期比9.9%増）の増収となりました。

酵素洗顔が好調の「メラノCC」や「肌ラボ」、サプリメントの「ロートV5」や日やけ止め等が引き続き好調に推移いたしました。国内グループ会社におきましては、クオリテックファーマ(株)が増収に寄与しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、原価率の上昇に加え、研究開発費など販売費及び一般管理費の計画的な増加により65億6千5百万円（同10.3%減）と減益となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、50億1千5百万円（前年同期比18.4%増）と大幅な増収となりました。

流通を拡大させた事によりOTC目薬が順調に推移しました。また、ブラジルの連結子会社も増収に大きく貢献しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、原価率の上昇により、3億4百万円（同4.7%減）と減益となりました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、38億8千8百万円（前年同期比12.0%増）と大幅な増収となりました。

主力の消炎鎮痛剤は中東向けの出荷時期のずれの影響などで減少したものの、ポーランドのダクス・コスメティクス社が「Perfecta」や「Hadalabo Tokyo」の好調を受け増収に貢献しました。また、2021年から「ロート ドライエイド」により目薬市場の開拓を進めており、好調に推移しています。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、原価率の上昇に加え、販売費及び一般管理費の増加により、3億5千6百万円（同32.5%減）と減益となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、180億9千1百万円（前年同期比13.8%増）と大幅な増収となりました。

引き続きインドネシア、香港、台湾などが好調を持続し、中国・ベトナムが回復傾向となり増収に貢献しました。商品別では「肌ラボ」、日やけ止め、フケ抑制シャンプー「セルサン」が増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、増収効果に加え、原価率の改善と販売費及び一般管理費の効率的な活用により、43億2千万円（同51.2%増）と大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は4,087億3千1百万円となり、前連結会計年度末より625億5千6百万円増加いたしました。これは、のれんが457億6百万円、有形固定資産のその他が137億2千1百万円、商品及び製品が91億7千8百万円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が155億8千7百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は1,514億8千1百万円となり、前連結会計年度末より523億4千2百万円増加いたしました。これは、短期借入金が212億3千3百万円、長期借入金が141億4千1百万円増加した一方、未払費用が15億9千6百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては2,572億4千9百万円となり、前連結会計年度末より102億1千3百万円増加いたしました。これは、為替換算調整勘定が62億8千2百万円、利益剰余金が53億4千9百万円それぞれ増加した一方、資本剰余金が14億4千4百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

[2025年3月期 通期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	300,000	43,000	44,000	32,000	140.27
今回修正予想(B)	320,000	43,200	44,200	32,200	141.14
増減額(B-A)	20,000	200	200	200	—
増減率(%)	6.7	0.5	0.5	0.6	—

連結業績予想につきましては、第1四半期に株式の取得を発表しましたEu Yan Sang international Ltd.およびMono chem-pharm Produkte GmbHの業績を第3四半期以降の連結業績予想に反映させ、2024年5月13日に公表した連結業績予想を修正いたします。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益全てが前回発表を上回り増収増益となる見込みです。なお、為替レートは1ドル148円、1中国元20円の想定から変更しておりません。

詳細につきましては、本日（2024年8月7日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正（増配）のお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,210	73,623
受取手形及び売掛金	44,744	46,395
電子記録債権	24,779	21,566
商品及び製品	26,414	35,593
仕掛品	3,914	4,759
原材料及び貯蔵品	16,329	19,446
その他	9,773	10,740
貸倒引当金	△408	△437
流動資産合計	214,759	211,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,871	31,257
その他（純額）	38,736	52,458
有形固定資産合計	68,607	83,716
無形固定資産		
のれん	2,285	47,992
その他	6,931	8,557
無形固定資産合計	9,217	56,549
投資その他の資産		
投資有価証券	44,337	48,282
その他	16,262	15,660
貸倒引当金	△7,008	△7,165
投資その他の資産合計	53,590	56,777
固定資産合計	131,415	197,043
資産合計	346,175	408,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,991	21,182
電子記録債務	4,132	4,672
短期借入金	5,304	26,538
未払費用	21,985	20,389
未払法人税等	5,071	4,077
賞与引当金	3,685	2,812
役員賞与引当金	50	12
その他	29,865	39,852
流動負債合計	87,087	119,536
固定負債		
長期借入金	5,190	19,332
退職給付に係る負債	2,548	2,729
債務保証損失引当金	37	19
その他	4,275	9,863
固定負債合計	12,051	31,944
負債合計	99,138	151,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,504	6,504
資本剰余金	4,516	3,071
利益剰余金	209,399	214,749
自己株式	△4,939	△4,939
株主資本合計	215,480	219,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,276	12,581
為替換算調整勘定	18,594	24,876
退職給付に係る調整累計額	591	559
その他の包括利益累計額合計	30,461	38,018
新株予約権	382	382
非支配株主持分	710	△537
純資産合計	247,036	257,249
負債純資産合計	346,175	408,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	61,171	68,356
売上原価	25,399	29,280
売上総利益	35,772	39,076
販売費及び一般管理費	24,479	27,285
営業利益	11,292	11,790
営業外収益		
受取利息	316	439
受取配当金	257	289
持分法による投資利益	74	1
貸倒引当金戻入額	246	-
その他	307	133
営業外収益合計	1,202	865
営業外費用		
支払利息	46	65
貸倒引当金繰入額	-	165
投資事業組合運用損	77	20
その他	127	131
営業外費用合計	252	382
経常利益	12,242	12,273
特別利益		
関係会社株式売却益	-	39
特別利益合計	-	39
特別損失		
減損損失	-	16
投資有価証券評価損	-	201
特別損失合計	-	218
税金等調整前四半期純利益	12,242	12,094
法人税等	2,990	3,609
四半期純利益	9,252	8,484
非支配株主に帰属する四半期純利益	161	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,090	8,482

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	9,252	8,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,000	1,306
為替換算調整勘定	2,479	6,312
退職給付に係る調整額	△2	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	4,477	7,586
四半期包括利益	13,729	16,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,534	16,039
非支配株主に係る四半期包括利益	195	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	36,899	4,234	3,470	15,890	60,495	676	61,171	—	61,171
(1) 外部顧客への売上高	36,899	4,234	3,470	15,890	60,495	676	61,171	—	61,171
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	775	411	29	1,076	2,293	12	2,306	△2,306	—
計	37,675	4,646	3,500	16,967	62,789	688	63,478	△2,306	61,171
セグメント利益	7,323	319	528	2,857	11,028	65	11,093	199	11,292

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額199百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	40,534	5,015	3,888	18,091	67,530	826	68,356	—	68,356
(1) 外部顧客への売上高	40,534	5,015	3,888	18,091	67,530	826	68,356	—	68,356
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	925	486	32	1,188	2,633	28	2,661	△2,661	—
計	41,460	5,502	3,920	19,280	70,163	854	71,018	△2,661	68,356
セグメント利益	6,565	304	356	4,320	11,547	56	11,603	187	11,790

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額187百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アジア」セグメントにおいて、Eu Yan Sang International Ltd.の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、44,792百万円であります。

また、「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては16百万円であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、Eu Yan Sang International Ltd.の株式を取得し、連結の範囲に含めたこと等により、前連結会計年度の末日に比べ、「アジア」のセグメント資産が99,465百万円、「その他」のセグメント資産が335百万円増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,907百万円	2,155百万円
のれんの償却額	103百万円	91百万円

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したSoar R2M Pte. Ltd. 及び、新たに株式を取得したことに伴い、Eu Yan Sang International Ltd. 他36社を連結の範囲に含めております。

持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、株式を売却したことに伴い、カフェ・カンパニー(株)を持分法適用の範囲から除外しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 Eu Yan Sang International Ltd.

事業の内容 漢方薬・食品等の製造及び販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、世界の人々に商品やサービスを通じて「健康」をお届けすることによって、当社を取り巻くすべての個人や社会を「Well-being」に導くことを存在意義(パーパス)として事業を展開し、事業領域ビジョン2030では一般用医薬品、スキンケア、食品のコア事業の更なる拡大・強化を目指しています。製品及びサービス別売上でスキンケアは現在65%を占めていますが、あらゆる健康に対してソリューションを提供するには一般用医薬品・食品の更なる強化は必須であり、地域別売上で約30%を占めているアジア地域は今後更なる成長が期待できます。Eu Yan Sang International Ltd.のアジアにおける強い製品・ブランド力と当社の研究技術開発・販売力が連携することで、革新的なビジネスにつなげ、前例のない健康事業の実現を目指します。

(3) 企業結合日

2024年6月3日(みなし取得日 2024年6月30日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

85.91%

(7) 取得企業を決定するに至った主な経緯

当社グループが現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年6月30日をみなし取得日としており、当第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内容

取得の対価	現金	694.5百万シンガポールドル (80,840百万円)
-------	----	-----------------------------

取得原価		694.5百万シンガポールドル (80,840百万円)
------	--	-----------------------------

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	196百万円
-----------	--------

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び期間

(1) 発生したのれんの金額

44,792百万円

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

(3) 償却の方法及び償却期間

20年にわたる均等償却